

「環境GS平成29年度実績報告・平成30年度継続申請書」作成の手引き

標記申請書は、本手引きに沿って作成の上、平成30年6月末までに県庁環境エネルギー課地球温暖化対策係あて提出してください。

- ◎今までの申請で、電力について原単位を使用して目標の設定をしていただいた事業者様につきましては、電力排出係数の影響を受けることから、今後の申請の際に、①電力の排出係数を任意に固定しての算出や、②原単位での実績に加え、実使用量の実績を併記していただくなど、ご検討のほどをお願いいたします。
詳しくは記載例（原単位の場合）をご覧ください。

○事業者の名称等

- 1 「事業者」の欄には、事業者の名称、代表者職名・氏名、所在地を記入します。
- 2 メールアドレス欄には、事業所の代表アドレスもしくはGSマネージャー、サブマネージャーのアドレスなど、環境GSについての連絡先とするアドレスを記入してください。
- 3 事業内容、GSマネージャー、環境基本方針等に変更がある場合は、別紙に変更となった項目を記入の上、提出してください。（変更がない場合は、別紙提出不要）
※環境GS関連の情報や送付物をメールで受け取ることにご協力いただける事業者様は、別紙にメールアドレスを記入してください。県では省資源化のため、メールを活用した情報発信を行っております。
（すべての郵便物がメールでお渡しできるわけではないことをご了承ください）
- 4 群馬県暴力団排除条例が施行されたことに伴い、申請者が暴力団等に該当しないことを誓約する項目があります。内容を確認の上、チェック欄にレ（もしくは■）を記入してください。記入漏れが非常に多い箇所となっていますので、必ず確認をお願いします。
- 5 「エコアクション21（EA21）」及び「群馬県地球温暖化防止条例における温室効果ガス排出削減計画等提出対象事業者」については、それらの制度によるマネジメントが実施されていることが確認できるため、以下の書類を添付することにより、「実績と新たな目標」以下の欄については記入を省略することができます。
（なお、その場合でも環境GSについて別に目標設定している場合や、環境GSについての検証や評価を行った場合は、ご記入いただいても構いません。）

【添付書類】

- ・「エコアクション21」認定事業者は、最新の「環境活動レポート」の写し。
- ・「群馬県地球温暖化防止条例における温室効果ガス排出削減計画等提出対象事業者」については、当該「温室効果ガス排出削減計画書」及び「温室効果ガス排出状況報告書」の写し。（環境GSについての申請を先に行う場合は、「別紙」通信欄等に「排出削減計画書等を作成次第別途送付予定」と記載してください。）

○実績と新たな目標

【「実使用量」を指標としている場合】

（「原単位」を指標に用いている場合の記載例は、4ページをご覧ください）

- 1 実績値の欄には、設定指標に基づいて把握した取組年度（平成28・29年度）の数値を記入します。
※「短期目標」欄は、昨年度継続申請（もしくは新規申請）時に記載した短期目標を記入してください。
- 2 「短期目標達成状況」の欄では、短期目標の達成・未達成の状況を○で囲み、「実績－短期目標」の欄には、平成29年度実績値と短期目標値の差（②－③）を記入します。
- 3 「新たな短期目標」の欄には、平成29年度実績を踏まえ、今年度（平成30年度）の取組目標を記入します。
- 4 「長期目標」の欄は、認定取得時に設定したものを記載してください。その後、見直しを行った場合等は、見直し後のものを記載してください。新たに長期目標を設定する際は、5年間程度を標準として設定してください。
- 5 「削減総量」の欄には、「平成28年度実績値」から「平成29年度実績値」を引いた数値（①－②）を記入します。

※集計期間・年度

事業年度やエネルギー使用量の集計を4－3月以外の期間で行っている場合や、他のマネジメントシステムとの整合性などの都合により4－3月以外の期間で管理している場合は、その集計期間の数値で報告していただくことも可能です。計算をするにあたり都合の良い期間で集計してください。

○取組実績・評価

- 1 「取組実績・評価」の欄には、十分な取組が実施でき、効果も大きかったと思われる項目を、上位5つまで記入してください。（最低1つは必ず記入をお願いします。）
- 2 併せて、取組の効果、改善が必要な点など、取組の総合評価を記載してください。
（本申請書で最重要項目のため、空欄の場合は電話等で確認させていただく場合があります。）
- 3 「取組実績・評価」の欄に記入された取組を参考に、「取組結果概要」として報告書を作成させていただきます。また、ホームページでは事業所ごとに公表いたしますので予めご了承ください。

○今年度の取組内容

「今年度の取組内容」の欄には、前年度の取組実績・評価を踏まえ、今年度行う具体的な取り組み内容を記入します。

※「1 実績と新たな目標」に記入した指標を削減するための具体的な取り組みが望ましいです。

（例 指標：電気使用量 → 取組内容：休憩時間の消灯、非使用場所の消灯を徹底する）
「エアコンの一時停止」など、無理、我慢を強いるような内容は避けるようにしましょう。能率の低下や、健康に支障を来すなど思わぬ影響が出るおそれがあるほか、一般的に

長続きしません。

(別紙)

下記内容に変更があった場合について、変更となった項目について記載して提出してください。

また、「環境G S 認定制度」に関わるご意見、ご要望や感想などありましたら、「通信欄」にご記入の上、提出してください。

※新規認定時に交付した「認定書額」や「ステッカー」が破損した場合など、新しい額やステッカーをご希望の場合は、この欄にご記入ください。

○事業内容

- 1 「事業内容」の欄には、「〇〇製造業」など、事業活動の概要を記入します。
- 2 「参考情報」の欄には、資本金、事業所の延床面積、ISO14001などの取得状況を記入します。
- 3 前述のとおり、環境G S 関連の情報や送付物をメールで受け取ることに協力いただける場合は、ご担当者様が日々の業務において確認可能なPCメールアドレスをご記入ください。

○環境G S マネージャー等

この欄に変更があった場合は、環境G S マネージャー及び環境G S サブマネージャー全員分について記入します。

○環境基本方針

変更後の「環境基本方針」を記入します。

○実績と新たな目標

【「原単位」を指標としている場合】

- ・実績値の欄には、設定指標に基づいて把握した取組年度（平成29年度）、その前年度（平成28年度）の数値を記入します。
 - ・記載例は、「製造品出荷額（百万円）当たりの電力消費による二酸化炭素排出量（ト/出荷額百万円）」を指標とし、次表（例）の場合を想定しています。
- 「短期目標達成状況」の欄では、短期目標の達成・未達成の状況を○で囲み、「実績－短期目標」の欄には、平成29年度実績値と短期目標値の差（②－③）を記入します。

表（例）

年度	平成29年度			平成28年度		
電 気	使用量	排出係数	CO2 排出量	使用量	排出係数	CO2 排出量
	1,450,000 kWh	0.486 (注1)	705 t (注2)	1,490,000 kWh	0.500 (注1)	745 t (注2)
原単位の算出	$\text{CO2 排出量} \div \text{製品出荷額}$ $705 \text{ t} \div 900 \text{ 百万円}$ $= 0.783$			$\text{CO2 排出量} \div \text{製品出荷額}$ $745 \text{ t} \div 900 \text{ 百万円}$ $= 0.827$		

（注1）東京電力の電力排出係数を使用した場合

（注2）小数点以下の四捨五入は任意となります

- また、「原単位」を指標に用いた場合、電力の排出係数を固定（どの年度の排出係数を使用するかは任意）して算出したものや、実使用量の実績などを併記していただくことで、取り組みの成果を把握することができます。（任意）

年度	平成29年度			平成28年度		
電 気	使用量	排出係数	CO2 排出量	使用量	排出係数	CO2 排出量
	1,450,000 kWh	0.500 (固定)	725 t	1,490,000 kWh	0.500 (固定)	745 t
原単位の算出	$\text{CO2 排出量} \div \text{製品出荷額}$ $725 \text{ t} \div 900 \text{ 百万円}$ $= 0.805$			$\text{CO2 排出量} \div \text{製品出荷額}$ $745 \text{ t} \div 900 \text{ 百万円}$ $= 0.827$		

新規申請時に自ら設定した原単位算出方法をご使用ください。上記例は「電気消費に伴う二酸化炭素排出量」を「製品出荷額」で除した原単位の一例です。

ほかに「軽油、ガソリン、重油、ガス、灯油」使用による二酸化炭素排出量を合計した数値を出荷額等で除する手法や、エネルギー実使用量（kWh, ℓ, m³）を出荷額等で除する手法もあります。

- ・「新たな短期目標」の欄には、平成29年度実績を踏まえ今年度（平成30年度）の取組目標を記入します。
 - ・記載例では、平成29年度実績値より約1%削減することを目標として設定し、「263（ℓ/出荷額百万円）」及び「0.775（ト/出荷額百万円）」と記入しています。

- 5 「長期目標」の欄は、認定取得時に設定したものを記載してください。その後、見直しを行った場合等は、見直し後のものを記載してください。
- 6 ・「削減総量」の欄には、「前々年度総量」から「前年度総量」を引いた数値を記入します。原単位算定の分子にあたる実数について、平成28年度の値から平成29年度の値を引いたものを記載してください。
- ・指標を「軽油使用量 (ℓ) / 製品出荷額」としている場合は、「平成28年度の軽油使用量(ℓ)」から「平成29年度の軽油使用量(ℓ)」を引いた数値となります。
 - ・指標を「電力消費量 CO₂ (t) / 製品出荷額」としている場合は、「平成28年度の電力消費量 CO₂(t)」から「平成29年度の電力消費量 CO₂(t)」を引いた数値となります。

○二酸化炭素の排出係数

二酸化炭素排出量は、電力消費量原単位や燃料消費量 原単位に各排出係数を乗じた値で求めます。

排出係数	
エネルギーの種類	CO ₂ (kg)
電力量 (Kwh)	0.486(注1)
灯油 (ℓ)	2.49
軽油 (ℓ)	2.58
A重油 (ℓ)	2.71
ガソリン (ℓ)	2.32
LPG (kg)	3.00
都市ガス (m ³)	2.11(注3)
(注2) 都市ガス (m ³)	2.09(注4)
都市ガス (Nm ³)	2.18(注5)

電力の排出係数の数値は、毎年変更されます。取組の成果を測るため、特定の年度の数値を一定期間固定して使用する手法もあります。環境GSの申請はどちらの手法でも、両方併記しても構いません。

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条による。

- (注1) 電力については、東京電力の平成28年度排出係数(炭素クレジット反映前)。東京電力以外から購入している場合は、購入会社の排出係数による。
- (注2) 都市ガスについては、東京ガスの排出係数。東京ガス以外から購入している場合は、購入会社の排出係数による。
- (注3) 群馬地区における都市ガスの排出係数(使用実態に近い15℃、ゲージ圧2kpa状態での値)
- (注4) 群馬地区における都市ガスの排出係数(工場や商業ビルなど中圧供給の場合(15℃、ゲージ圧0.981kPa(100mmH₂O)))
- (注5) 群馬地区における都市ガスの排出係数(標準状態(0℃、1気圧)での値)